

一般社団法人日本小児血液・がん学会
第78回理事会議事録

日時:令和6年3月29日(金) 15:00~17:00

開催:ZOOMによるオンライン開催

出席者:菱木 知郎、真部 淳(第65回学術集会会長)、小川 千登世、
奥山 宏臣、塩飽 仁、多賀 崇、高橋 義行、滝 智彦、藤 浩、家原 知子、木下 義晶、
富澤 大輔、山崎 文之、義岡 孝子、余谷 暢之(以上理事)
淵本 康史、堀 浩樹(以上監事)

足立 壮一(第66回学術集会会長)、田尻 達郎(第67回学術集会会長)

欠席者:大賀 正一、大植 孝治、加藤 元博

冒頭に、本日の理事出席者数は理事18名中15名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事 真部淳は議長となり、議長席に着き審議に入った。

I. 前回議事録(案)の確認

議長より、前回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

II 審議事項

1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の菱木担当理事より、現在の会員数の報告とともに、入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

2. 専門医制度委員会の終日業務の日当について

庶務・財務委員会の菱木担当理事より、専門医制度委員会の試験問題作成、試験対応業務などの終日業務に関わる日当の支払いについて提案がなされ、次回の理事会までに、本会の委員会業務における業務料の支払いについて規程を作成することとなった。

3. 脳腫瘍ほか稀少腫瘍、腫瘍関連疾患に関する活動について

脳腫瘍ほか稀少腫瘍、腫瘍関連疾患に関する本会の活動について提案がなされた。今後、それぞれの疾患についてどのような活動を行うべきかについて、JCCGと本会で協議することが提案された。

4. 日本小児血液がん学会と日本血液学会合同の将来構想検討委員会の立ち上げについて

本会と日本血液学会合同の将来構想検討委員会の立ち上げについて提案され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

5. 国立がん研究センター研究開発費福田班「移植後小児成人移行をサポートするツール」パブリックコメントの実施について

長期フォローアップ・移行期医療委員会より、国立がん研究センター研究開発費福田班「移植後小児成人移行をサポートするツール」パブリックコメントの実施について、資料と共に議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

6. 日本造血免疫細胞学会 HP のリンク掲載設置依頼について

長期フォローアップ・移行期医療委員会より、日本造血免疫細胞学会 HP のリンク掲載設置依頼について資料と共に示され、本会 HP のトップページにある2つの長期フォローアップ関連のバナーを統合し、長期フォローアップ専用ページを作成し、その中に、LCAS 研修会、e-learning、関連事業として日本造血免疫細胞学会 HP へのリンクを掲載することとし、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

7. 日本緩和医療学会小児がん疼痛に関するガイドラインWGへの協力について

余谷理事より、日本緩和医療学会による「小児がん疼痛に関するガイドライン」の作成に関連し、作業部会である小児がん疼痛に関するガイドライン WG に、本会より外部委員として 2 名の先生が参画することが議場に示され、その承認が求められたところ異議なく承認された。

8. 役員選挙について

任期満了に伴う役員改選について、本年 2 月～3 月にかけて実施された理事監事選挙、理事長選挙の結果が議場に示され、その承認が求められたところ異議なく承認された。

今後、定款及び定款施行細則に則り、定時社員総会で役員選任がなされ、6 月 30 日開催の新旧合同理事会にて各委員会の担当理事・副担当理事の引継ぎを行うこととなる。

なお、学術集会プログラム委員会については次年度の開催準備の関係を考慮し、他委員会より優先して委員会メンバーの選定・検討を進めることとなった。

9. Japan Cancer Forum 2024 共催セッションについて

例年実施している Japan Cancer Forum 2024 共催セッションについて、本年も例年通り共催することが議場に示され、その承認が求められたところ異議なく承認された。

10. 公益財団法人がんの子どもを守る会 2024 年度年次大会の後援依頼について

公益財団法人がんの子どもを守る会より、2024 年度年次大会の後援依頼があり、例年通り後援を行うことが異議なく承認された。

11. 第 31 回日本医学会総会についてのアンケートについて

昨年開催された「第 31 回日本医学会総会」についてのアンケートの依頼を受け、本会でも会員宛にアンケートの依頼を配信済みであるが、本理事会においても第 31 回総会についての意見聴取が行われた。

12. 公益信託日本白血病研究基金の学会推薦枠について

公益信託日本白血病研究基金の学会推薦枠の募集について、4 月 15 日(月)頃までに学会事務局宛に応募書類を提出、その後持ち回り審議で候補者を決定することとなった。

13. 学術集会日韓シンポジウムにおける演者・座長招待内容の変更について

国際委員会の真部担当理事より、JSPHO 学術集会における日韓シンポジウム、KSPHO 学術集会における韓日シンポジウムについて、KSPHO 理事長および国際委員会より、両学会の交流促進・シンポジウムにおけるディスカッション活性化を目的として、今後は座長も日韓各 1 名とすることが提案された。これに伴い、招待内容の下記のように変更することが議場に示され、異議なく承認された。

韓国演者 2 名+韓国座長 1 名分

・JSPHO 学会本体より:謝金 10 万円(含旅費)×3 名

・学術集会から:会期中の宿泊ホテル×3 名

・参加費なし×3 名

※座長は各学会理事長などとする

14. 第66回学術集会のプログラムについて

第66回学術集会の足立会長より、下記3つのプログラムについて示され、異議なく承認された。

・病理に関するプログラムについて、日本病理学会理事長宛へシンポジストを依頼

・AYA 世代の臨床研究を考えるシンポジウムの開催

・小児がん看護学会との合同セッションについて、臨床腫瘍学会理事長へシンポジストを依頼

Ⅲ. 報告事項

1. 第65回日本小児血液・がん学会学術集会報告

真部会長より、第65回学術集会について、大会収支、各プログラムの現地・オンデマンド参加者数について報告された。なお収支は黒字であり、余剰金が本学会に返納されることになる。

2. 第66回日本小児血液・がん学会学術集会報告

足立会長より、2024年12月13日(金)～15日(日)に国立京都国際会館にて開催する第66回学術集会について、現在プログラムの検討中である事等が報告された。

3. 第67回日本小児血液・がん学会学術集会報告

田尻会長より、2025年11月19日(水)～21日(金)に開催される第67回学術集会の運営事務局が決定したことについて報告された。

4. 利益相反委員会報告

利益相反委員会 奥山担当理事より、2023年のCOI申告書の提出について全ての確認が問題なく終了したことが報告された。

5. 学術集会プログラム委員会報告

学術集会プログラム委員会 家原担当理事より、上級演題について報告された。

6. 研究審査委員会報告

研究審査委員会報告 家原担当理事より、研究審査について承認済み2件、延長申請1件、取下げ1件の対応を行ったことが報告された。また、日本小児血液がん学会ホームページにおいて、学会が承認したオープン中の研究における「情報公開文書」の掲載に関する取り決めを調整中である事が報告された。

7. 専門医制度委員会報告

専門医制度委員会 富澤担当理事より、下記について報告された。

(1)「機構認定サブスペ領域専門医への移行」問題に関する報告

- ・学会認定「小児血液・がん専門医」について、「小児腫瘍専門医」として機構認定を目指す方針となった(理事会承認済)。
- ・専門医制度に関する説明会(2024年1/11、1/13)を実施済み
- ・12/10の日本小児科学会理事会にて「整備指針」および「カリキュラム」の提出期限の猶予を求める要望書(11/24当学会理事会にて提示)の提出について承認され、提出した。「小児腫瘍専門医」への制度設計変更に関しては2/17の同理事会での再審議の結果、「小児腫瘍専門医」をカテゴリー1として進めることについて承認された。機構への申請は2024年度以降に行うこととなった。
- ・3/5に開催された専門医制度委員会にて、今後、「小児腫瘍専門医」を2024年度中の機構への申請を目指す方針が確認された。
今後は本年12月の第66回学術集会時総会または2025年6月の定時社員総会での承認を目指す。

(2)2024年度専門医試験の予定

- ・9/14-15に第10回小児血液・がん専門医試験を、9/14に第3回小児がん認定外科医試験を、TKP市ヶ谷カンファレンスセンターにて実施する。また、それに伴い、試験問題作成担当者を選定し、作成依頼を行った。
- ・6/1-2に専門医試験ブラッシュアップ会議を実施する。

(3)専門医・指導医・認定外科医・研修施設・研修集会の更新申請書類の審査について

専門医 17件、指導医 3件、みなし指導医 2件、認定外科医 14件、認定外科医更新猶予 1件、研修集会 1件の申請について審査中である。

IV.理事長報告

大賀理事長より、第 57 回日本小児内分泌学会学術集会において合同シンポジウムを開催することが書面にて報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和6年 3 月 29 日

日本小児血液・がん学会 第 78 回理事会

副理事長 真部 淳

監 事 堀 浩樹